

左近山中だより

令和 4年 12月 23日
横浜市立左近山中学校
校長 神林 康之
No. 8

違いを認め合える人に

副校長 大内 雅代

1948年12月10日、国際連合(国連)は、すべての人間が人間として尊重され、自由であり、平等であり、差別されてはならないことを定めた“世界人権宣言”を採択し世界人権デーとなりました。日本国憲法でも人権に関して世界人権宣言とほとんど同じ内容を定めています。

「人権」とは「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしくいきる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとっても身近で大切なもの、違いを認め合う心によって守られるものです。

世界人権宣言から70年以上経った今でも、法務省は多くの人権課題を挙げていますし、世界には争いがおきている地域があります。みなさんの周りで、言い過ぎな言葉、やりすぎな行動を見聞きすることがあると思います。左近山中学校に通う誰もが、安心して生活できる学校にするにはどうしたらいいのでしょうか。

上にもありますが『それぞれの違いを認め合うこと』が大切だと思います。



コピーしたかのような同じ顔の人がいないように、考え方や行動も一人ひとり違います。私自身何となくの印象で「この人は自分と違うな」とか「合わないな」と思うことがありました。でも実際にいろいろ話をしてみると、その人のことがわかり、自分との違いや似た部分も理解して印象が変わった経験がたくさんあります。みなさんにも多くの人との会話やかかわりを持って、優しさと思いやりを忘れずに学校生活を送ってほしいと願っています。

『わたしと小鳥とすずと』

金子みすゞ

わたしが両手をひろげても、 お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、 地べたをはやくは走れない。
わたしがからだをゆすっても、 きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、 たくさんうたは知らないよ。
すずと、小鳥と、それからわたし、 みんなちがって、みんないい。



保護者・地域のみなさまには、学校教育にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございました。コロナ禍の教育活動において、ご不自由をおかけすることもありましたが、3年修学旅行、2年鎌倉遠足、体育祭、文化祭と大きな行事を終えることができました。年明けには1年のスキー教室を実施する予定です。来年も引き続き、左近山中学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

職業講座 ～働くとは何だろう？～

本校では、「～優しさ・思いやりを柱に～ 未来を創る力の育成」を目指したキャリア学習を総合的な学習の時間を通して行っています。その一環として、11月30日（水）に地域の事業所にご協力いただき、職業講座を開講しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、学校に講師を招いての行事は3年ぶりとなります。生徒たちは、緊張感をもって臨みました。事前学習で講師の方の職業について調べ、当日の質問をみんなで考えたこともあり、「働くとは何だろう？」という探究テーマをより深く追究することができました。生徒のアンケートからは「何事にも挑戦しようと思った。」「人の命を救う仕事についているのがかっこいいと感じた。」など、自分の進路選択について大きなヒントを得たことを感じました。

ご多用のところ、生徒のためにご来校いただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。

1 学年 総合的な学習の時間 担当



職業体験<in キッズニア東京>

本校のキャリア学習の一環として、11月30日（水）にキッズニア東京へ職業体験学習に行ってきました。例年、2学年次の1月末に地域の事業所等のお力を借り、職業体験を実施してきましたが、近年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業所の安定した確保の困難が想定されることから体験活動を見合わせる状況が続いていました。キッズニアでの学習は今年度、新たな取り組みとして実施し、生徒たちも多くの職業に触れ、学校内ではできない充実した時間を過ごすことができました。職業体験を通して、職業の魅力や将来について考え、今後の進路選択へとつなげていきたいと考えています。また、地域の方々には、今後お力を借りる機会が出てくるかと思えます。その際は、ぜひ、温かいご協力をお願いいたします。

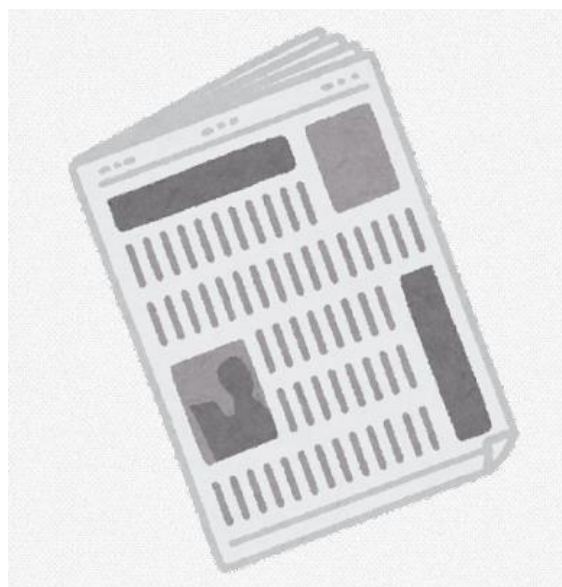
2 学年主任



個別校外学習「ニュースパーク・劇団四季」

12月15日（木）チャリティー公演にご招待いただき、「劇団四季～人間になりたがった猫～」のミュージカルの観劇に出かけました。公演が午後だったため、午前中に見学学習を行い、一日の校外学習となりました。午前中は、ニュースパーク（新聞博物館）に行き、新聞の歴史や、新聞配達の実験、タブレットによる取材など様々なことを体験しました。その後、自分たちで取材した記事をもとにしたオリジナルの新聞をお土産にいただくこともでき、新聞の持つ情報伝達の力に少しですが触れられたように思います。その経験を生かし、事後学習として個人新聞を作成しました。5組の廊下に掲示しておりますので、来校の際にはぜひともご覧ください。

昼食を済ませ、観劇のため県民ホールに向かいました。スタッフの方々の温かい出迎えを受け、休憩をはさんで2時間の公演でした。ミュージカルの内容は、人間になりたがっていた猫が実際に人間となり、人々の優しさに触れ仲間の大切さを知り、一人じゃ生きていけないことを心の底から感じる内容です。みんな、感動していました。中学生は、子供と大人のはざままで悩み、なかなか素直になれずにいる多感な時期です。今回の公演で、まさに横にいる友だちや家族など自分に関わる多くの人のおかげで今の自分がいることを、改めて実感できたように思います。



個別支援級担任

第一回 青学年 学年レク

12月20日（火）に今年度初めての学年レクを行いました。

前半は代表委員考案の「色々リレー（リレーの中で「袋競争・あっちむいてほい・ジェスチャー・借り人競争」をする）」を行い、後半は三択クイズを行いました。当日の運営も代表委員が行い、他の生徒もそれに協力する姿を見ることができました。お互いに声を掛け合い応援したり、ユーモアたっぷりのクイズに楽しんで答えたりと、どちらもとても盛り上がっていました。「協力して楽しむ」ところがこの学年の素敵どころだと思います。

学年末にある球技大会や百人一首大会でも「協力して楽しむ」姿を期待します。

2学年 特活担当



～ 安全に冬休みを過ごすために ～

冬休みは、一年間の生活や学習を振り返るとともに、新年を迎えて新たな希望や目標をもち、未来に向けた前向きな気持ちを育む絶好の機会です。一方で、慌ただしさの中、予期せぬ事件や事故に巻き込まれたりする場合があります。新年のスタートに向け安全な生活を過ごせるように、保護者の方は個人面談でお渡しした「冬休みの心得」と以下の点をお子様とこの機会によくお話してください。また、お子様に冬休みのしおりを配布します。ご家庭でも一緒に過ごし方を考えていただけたらと思います。



- 外出の際は、行先や帰宅時間等をご家庭で確認するようにしてください。
- 交通事故の防止に努めてください。停車中の車両の前後での横断や、いわゆる「ながらスマホ」等への注意喚起をお願いします。
- お金を持つことが多くなりやすい時期です。子ども同士での金品のやりとりは「金額を問わず行わないこと」をご家庭でもご確認ください。
- 登下校に限らず校外生活においても「人通りの多い道をまとまって、寄り道せずに帰る」を基本に、「何かあったら迷わず110番」の指導を徹底してください。

生徒指導専任

「ご家庭へ 冬休み中のお願い！」

冬休み中もご家庭での健康観察と健康観察表への記入を引き続きお願いいたします。生徒の新型コロナウイルス感染が判明した場合、学校への連絡は次のようにお願いします。尚、12月27日～1月5日まで、学校は閉庁期間となり、電話は留守番電話となります。

12月24日(土)～26日(月)に判明	➡	12月26日(月)に中学校へ連絡
12月27日(火)～1月5日(木)に判明	➡	1月6日(金)に中学校へ連絡

※冬休み中に部活動があり、陽性が判明した場合、濃厚接触者となった場合は、顧問の指示による連絡方法で、部活への連絡をお願いいたします。

<陽性者の出席停止期間:発症翌日から7日間>

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発症		(例:陽性)						登校可

<濃厚接触者の自宅観察期間> ※抗原検査キットは「薬事承認」されたものを使用してください。

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
最終接触(0日目)	隔離1日目	隔離2日目	隔離3日目	隔離4日目	隔離5日目	登校可
		検査※ 1回目陰性	検査※ 2回目陰性 ➡登校可			7日目まで 健康観察

冬休み後、登校にあたり、体調不良がみられる場合は登校を控えていただきますようご理解とご協力をお願いいたします。